

//
ミマキは挑戦できる社風
で、常にモチベーション
を高められる会社です。
//



プロフィール



2018年 新卒入社

技術本部 設計統括部 メカ技術部

出身地 マレーシア

最終学歴 工学部 機械工学科

技術本部 設計統括部 メカ技術部の 2018年に新卒入社した彼に話を聞いてみました。

Q はじめに、あなたを表す3つの「モノ・コト」について教えてください。

1つ目は「旅」(①)。

わたしはマレーシアの大学から日本の大学に編入学し、二カ国の大学でキャンパスライフを過ごしました。学生の頃より旅行が大好きで、マレーシアにいた時も、日本でも時間があれば、バックパッカースタイルで一人旅を楽しんでいます。自国であるマレーシアと日本以外にもイタリア、イギリス、フランスなどのヨーロッパや韓国にも行ったことがあります。どの国も独自の感慨深い文化があります。

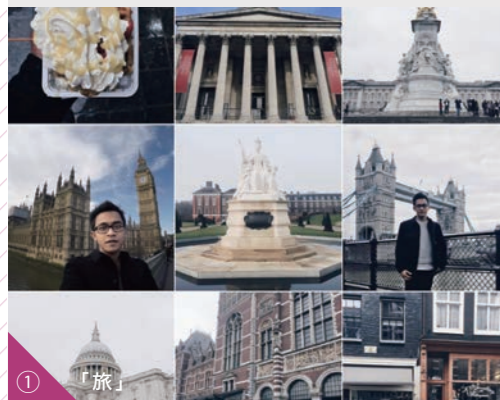
2つ目は「カメラ」(②)。

カメラは高校生の頃より興味をもっています。今使っているのは、ソニー製。一人旅を楽しみながら各国の風景や建物を撮っています。最近では軽井沢などの長野県内の近場に出向くことも

あり、自分で納得がいく写真が撮れるとSNSにアップロードをして楽しんでいます。

3つ目は「動物」(③)。

動物が大好きです。ですが、幼い頃に犬に吠えられた思い出がありますので、犬は少し苦手です。ウサギやハムスターなどの小動物は飼った事もあり、可愛らしく思います。動物に接していたり、写真を撮っているときはわたしにとって癒され、和む時間です。遠くですと大阪府にある天王寺動物園、近場ですと小諸市にある小諸市動物園へ、動物を見に行きます。幼い頃にマレーシアでよく見ていたマレーバクが、横浜のズーラシアにいるようです。いつかズーラシアに行って、久しぶりにマレーバクを見てみたいと思っています。



① 「旅」



② 「カメラ」



③ 「動物」

Q あなたにとって「働く」とはどんなことですか？

自分が「本心からやりたいと思うことをやる」ことが、わたしにとって「働く」ということです。機械の設計をやりたくて、日本の大学で工学を選び勉強しました。そこで学んだことを活かし、ミマキで実際に設計の仕事をするという夢を叶えたいと思っています。

Q なぜあなたはミマキエンジニアリングを選ばれたのですか？

高校卒業からずっと「挑戦」する環境で生きてきました。挑戦することには大変ですが、その結果味わるものがあると思っています。ミマキの会社説明会で、いろいろなことに挑戦できる会社だと強く感じ志望しました。「水と空気以外なら何にでもプリントできる」ことが究極の開発目標だということにも衝撃を受けました。グローバルに活躍できそうな企業であることも理由のひとつです。

Q ところで、「今の仕事」について教えてください。

TAプロジェクトの試作機の機能を評価することです。設計通りにきちんと作動するか、トラブルは無いかといったことをひとつずつチェックしながら評価していきます。地味な仕事と思われるかもしれませんが、面白い仕事です。

Q 仕事の中での忘れられないエピソードについて教えてください。

入社して間もないころ、大学でも習っていない、使ったこともなかった「CAD」というソフトウェアで画面修正を任されたことが忘れられません。習うより慣れるということですかね。なんとかやり終えたとき、達成感がこみ上げてきたことを、今でも覚えています。私にとって、これもひとつの「挑戦」でした。

1日の流れ



Q 入社前に勉強したことや、身につけたことはありますか？

大学4年間で身につけた「機械工学」全般の知識です。プリンタ等の仕組みを理解し、評価・設計することに役立っていると思います。また、今までにいろいろなことに挑戦してきた経験は、ミマキの挑戦できる社風に活かしていると思います。

Q では、入社前に勉強しておけばよかったこと、身につけておけばよかったことはありますか？

マレーシアの日本語学校で3年間勉強しましたが、日本語のスキルはまだまだです。これからもっと学ばなければならないと考えています。

Q 入社を考えている方にメッセージをお願いします。

NEVER REGRET YOUR DECISION. (あなたの決定は決して後悔しないもの)。ミマキは常にモチベーションを高められる会社です。ここに入社するという決断は、おそらく正しいと思います。

Q 5年後にはどうなっていたいのかを教えてください。

チャレンジしたいことは、ミマキの海外の支社で働くことです。5年後にマレーシア以外の国で設計の仕事をするのができていれば幸せだと思います。マレーシア以外と考える理由は、異文化のなかでどれだけできるのか試したいからです。

